

資料：

新型コロナウイルス感染症影響下における看護系大学の2020年度後期の臨地実習の実施状況、および、臨地実習を補完・代替する教育設備に関する調査結果（抜粋）

一般社団法人 日本看護系大学協議会

調査対象：2021年3月31日現在の日本看護系大学協議会会員校 287 課程

調査期間：2021年4月28日～5月14日

調査方法：グーグルフォームを用いた web 調査

回答数：251 課程 / 287 課程（回収率 87.5%）

2020年度後期の臨地実習の実施状況（回答数 251 課程） 上段：課程数 下段：（%）

臨地での 実施状況	全数	設置主体別				附属（関連）病院の 有無	
		課程数 （%）	国立 38 課程	公立 45 課程	私立 166 課程	不 明	有 120 課程
通常どおり実施 できた	18 (7.2)	6 (15.8)	6 (13.3)	6 (3.6)		13 (10.8)	5 (3.8)
一部臨地で実習 を実施できた	220 (87.6)	32 (84.2)	35 (77.8)	151 (91.0)	2	102 (85.0)	118 (90.1)
実施できなかった	13 (5.2)	0	4 (8.9)	9 (5.4)		5 (4.2)	8 (6.1)

実習を「通常通り実施できた」のは僅か7.2%であり、「一部臨地で実習を実施できた」のが87.6%であった。実習の「内容を変更した」、あるいは「実習を実施できなかった理由」は、実習施設の方針によるとの回答は約52%であった。

シミュレーション設備等の現状（回答数 251 課程）複数回答

現 状	課程数	%
十分な設備がある	32	12.7
学生に対して数が足りない、全くない	136	54.2
現在のシミュレーション機器のレベルに不満がある	88	35.1
シミュレーション施設を使いこなす準備が来ている	64	25.5
シミュレーション施設を活用した教育プログラムが十分に準備出来ていない	123	49.0

シミュレーション設備の現状は、設備の不足、特に学生数に対する数の不足、機器のレベルへの不満、シミュレーション機器を活用する教育プログラムの不十分さ等の課題が明らかになった。

動画教材の現状 (回答数 251 課程) 複数回答

現 状	課程数	%
十分な教材がある	44	17.5
学生に対して数が足りない、全くない	68	27.1
現在ある動画の内容とレベルに不満がある	112	44.6
教材を使いこなす環境が整っている	88	35.1
動画教材を活用した教育プログラムを十分に準備できない	97	38.6
模擬患者を活用した教育プログラムを十分に準備できない	156	62.2

臨地実習の補完・代替教育ツールとしての動画教材についても、現在ある動画の内容のレベルや数についての不満が明らかになった。

模擬患者を活用した教育の現状 (回答数 251 課程) 複数回答

現 状	課程数	%
十分な教材がある	17	6.8
学生に対して数が足りない、全くない	102	40.6
模擬患者のトレーニングが十分できない	102	40.6
模擬患者を活用した教育プログラムを十分に準備できない	156	62.2

模擬患者については、学生に対する数の不足、模擬患者を活用した教育プログラムを準備できない現状が明らかになった。

以上より、臨地実習を補完・代替する教育設備に関しては、看護系大学の教育環境は不十分であり、新型コロナウイルス感染症影響下において充実させる必要性が大であることが明らかになった。

以上

一般社団法人 日本看護系大学協議会：

「看護系大学生の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）ワクチン接種状況等に関する調査結果報告」より抜粋